

行事の意義を考える 季節の行事「水口祭り」

第115号 2019年5月20日発行

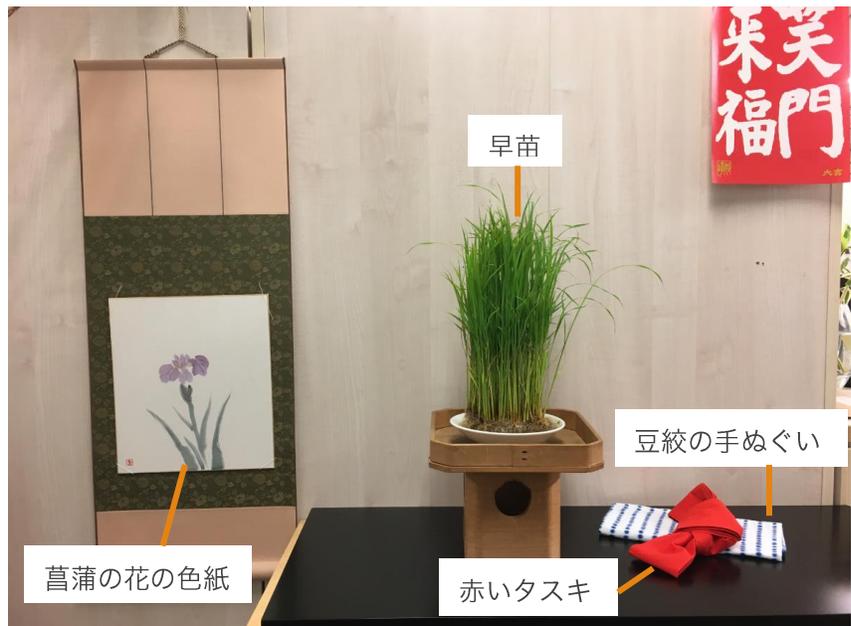
ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

5月の室礼



「水口祭り」の室礼：瑞々しい稲穂を育てる田の神を祭る行事

苗がよく根付き、今年も豊作でありますように」と、早乙女たちが
水をはった田に入って苗を植え、田の神に祈る習わし（予祝）

水口祭りの水口とは、苗代に稲の種をまいた日に苗代田の水口（用水
路の入り口）や畦で祭りが行われていたことによるものだそうです。

早苗：カグヤの田んぼに植えた苗

色紙：宮前さんが描いた菖蒲の花

赤いタスキ&手ぬぐい：田植えをする「早乙女（さおとめ）」に見立
てています。



室礼：宮前 奈々子作

「水口祭り」インタビュー

今回もカグヤクルーの宮前さんに「室礼」について、インタビューを行いました。

奥山 今回、室礼に飾っている絵は宮前さんが描いた物だとお聞きし、驚きました。

宮前 昔から、おばあちゃんは絵を描いていて、実家でもおばあちゃんの描いた絵を飾っています。以前から自分でも描いてみたいと思っていましたが、道具も無く、行動に移すことがありませんでした。GWにちょうど、友達が銀座で個展を行っているということで観に行き、やっぱり絵はいいなと思い、その帰りに銀座にある鳩居堂というお店（お香、書画用品等を取り扱う店）へ行きました。

会社の掛け軸に飾る色紙の中で、菜の花と紫陽花との間の時期の色紙が無かったので、今時期の物を買おうと見に行き、どれを買うかも決めましたが、「10連休もあるし、せっかくだったら描いてみて、ダメだったら買うでもいいかな」と気持ちを切り替え、筆と墨絵のテキストを買って、実家に帰りました。

GWに実家に姪っ子も来ており、姪っ子は書道をするのが初めてで、墨の擦り方を教えてあげたり、「令和」と書いたりして遊んでいました。

奥山 姪っ子さんとの楽しい時間ですね。

宮前 姪に、「絵も描きたいんだよね」と話したら、「絵も描きたい！」となり、一緒に描いていきました。半紙にまず菖蒲の花を描いてみたら、「上手い、うまい！」と姪や母が盛り上がり、2枚目、3枚目と半紙に描いていきました。絵を描いている時は夢中になり過ぎて、写真を撮るのも忘れるほどでした。

奥山 宮前さんが写真を撮り忘れるなんて珍しいですね！あの絵は実際に花を見ながら描かれたのですか？

宮前 実際の花を見て描いたのではなく、おばあちゃんが昔、描いていた菖蒲の花の色紙を観ながら描いていきました。また、はじめて絵を描くと



菖蒲の花 絵：宮前 奈々子作



色付けは「顔彩」で。



「奈」と彫られた印鑑

ということで、描き方も分からなかったので『実際に絵を描いてみましょう』という墨絵のテキストも参考にしました。

奥山 御祖母さんが描かれた絵を参考にされていたんですね！

宮前 おばあちゃんは、すごい量の色紙に絵を描いていて、ひな祭りなどの行事や季節の花、干支など、今でも季節にあわせ家に飾ってあり、おばあちゃんの絵を観れます。

奥山 そうでしたか、たくさん絵を描かれていたんですね。

宮前 あの色紙の裏には、実は「令和」と書いてあります（笑）。初めて描いた絵だから思い出になるなと思って、裏に書きました。

奥山 それには気づきませんでした、思い出に残る作品ですね！

宮前 GW明けにみんなが絵を観て「あーすごい！」と言ってくれて、嬉しかったです。こうして、昔の人は自然に親しんでいんだと思います。

奥山 宮前さんが描いたと聞き、みんな驚いていましたね。

宮前 以前、ブログで書いたことですが、実家では広島のおばあちゃんが描いた干支の色紙と、秩父のおばあちゃんが折った折り鶴を飾った室礼で年を迎えたことがあり、その場で一緒に住んでいなくても、暮らしの中で一緒にいるような感覚もありましたが、昔は意外と絵を描いたり、室礼をしたりというのは、今ほど特別ではなく身近だったのかもと感じました。

奥山 御祖母さんの影響を受けていそうですね。

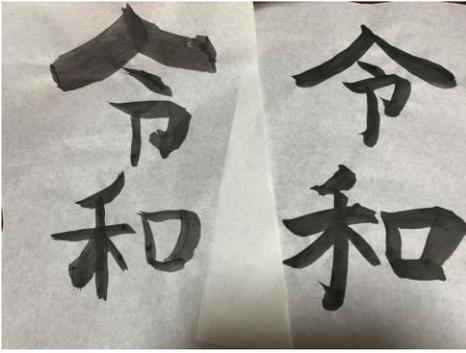
宮前 何か受け継いでいるのかな…と考えることもありましたが、確かに影響を受けていると思います。この印鑑は、広島のおばあちゃんが作ってくれていたものです。私のために用意してくれていたのかなと思います。

奥山 素敵な御祖母さまですね。

宮前 私が子どもの頃の誕生日には、小さい色紙に庭に咲く花の絵と「おめでとう」と書かれた色紙が贈られてきて、家に飾っていました。それを昔から素敵だなと思っていました。他にも、おばあちゃん家の庭で実った柿に、墨で笑顔の絵を描いたりして贈って来てくれたこともありました。



姪っ子さんと書や絵を描いて楽しめたそうです！



「令和」の書

奥山 絵を描かれたのは御祖母様の影響があつてのことだったんですね。

宮前 意識していませんでしたが、絶対影響を受けていると思います。毎回、こうして室礼の話をするたびに、いつも両親や祖父母の影響を色濃く受けていたことに気付きます。前回のひな祭り際には、「記憶になくても、自分の中にあるものがある」と思っていたのですが、「忘れていた記憶がよみがえる」ということがあることも感じています。

奥山 一枚の色紙に、こんな背景があつたのですね。

宮前 描いてよかったですし、また描いてみたいと思います。「令和」という時代や、友達の個展も重なってこのタイミングだったのだと思います。上手いから描く、でないのがいいなと思っていますし、気持ちや心が入ることが自分は好きで大事にしていて、そのためにやっているところもあるので。室礼もそうですが「床の間がないとできない」「習いに行っていないとできない」ということではなく、身近なものになるといいなと思います。あの色紙を見て、「自分も描いてみようかな～」とあるクルーが言っていたのですが、誰かのきっかけになっているのなら、自分としても嬉しいです。今は、習字もいいなと思っています。大人になって、制限が無いので、いいなと思ったことは習いに行かなくても、家でもできることに気付きました。筆を持つ感覚も懐かしく、写真を撮り忘れるくらいという体験も、普段はないもので、面白く再び出会った感覚です。

●過去のバックナンバー

第113号

季節の行事__端午の節供

第114号

令和生まれ

第115号

むかしの田んぼ__田植え

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>

奥山 確かに、何でもチャレンジできますね！

宮前 おばあちゃんは茶道をやっていたので、そこから絵を描いたり、お花をいけたりしていたのだと思いますが、敷居が高いものとしてではなく、身近な暮らしが美しく豊かに彩られるようなものとして、色々取り組んでいけたらと思っています。そして、祖母や母が伝えてくれた美しい暮らしを、私自身も次世代へと伝承できたらいいなと思っています。

奥山 今回も貴重なお話ありがとうございました。



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2 号館 10 階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。